

小矢部市立藪波公民館

◆事業の目的

「自然は最高の教室」「体験は最高の学習」を合言葉に事業を進める当公民館にとって、本事業では身近な山や川の実態に触れ、自然の在り様について考える。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
4月24日(日)	春の里山探検	浅地・戸久地内	21名
5月16日(月)	藪波川春の調査会	浅地・安養寺・戸久・地内	21名
8月7日(日)	夏の里山探検	浅地・戸久地	27名
8月22日(月)	藪波川夏の調査会	浅地・安養寺・戸久・地内	20名
9月24日(土)	親子上流体験	南砺市城端ダム湖上流	49名
10月8日(土)	藪波川秋の調査会	浅地・安養寺・戸久・地内	28名
2月26日(日)	冬の里山探検	浅地・戸久地内	

◆事業の様子

☆ 里山探検(浅地・戸久地内) 春・夏・冬

地区内の里山は浅地・戸久地内に偏在しかつ自然植生ではなく圧倒的に植林された杉林である。藪波川上流右岸のゴルフ場西側に狭い範囲に自然植生と思われる林が偏在する。本来の里山の植生について偏在する在来種から推測学習をした。秋は熊の出没があり残念ながら中止した。



☆ 藪波川調査会

藪波川は当地区内を南から北に向かって流れる小河川である。昭和19年頃から川筋の直線化が始められ、今日ようやく工事が完成しつつある。河川に人力が加わることによって河川がどのように変化するか、毎年この川の変化を調べている。調査は河川の環境調査、魚類調査を中心にを行い、一部水生昆虫調査も行った。同じ調査点でも、きれいな川に生息している魚類がいるのに、水生昆虫は汚い川を示し、水質はきれいな川を示す結果が表れた。いい討議が出来る場が生じた。



☆ 親子上流探検

上流探検は保育所と小・中学生と合同で実施した。保育所園児が萎縮しないかと危惧していたがむしろ小・中学生が保育所園児の指導に当たり、子どもたちの交流も生まれた。今回の探検は大雨直後であり水生昆虫が極めて少なかったが、今年はなぜ少ないのか?と考えるいい機会ができた。

◆事業の成果と課題

☆ 成果：思うような結果が得られたと思う。ふるさとの川が環境によってどう変化するかを観察し、考えることで自然と人との関わりについて考える機会となった。

☆ 課題：体験場所の確保等、事業の再検討が必要と思われる。

